2024年5月版

建物の**長寿命化**に貢献

オール水性型アクリルゴム系クリヤー防水工法

アトムルーセント(LC)工法

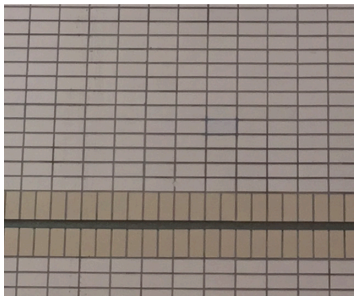
タイルの美観を損なわない

雨水をシャットアウトし、タイル外壁の長寿命化に貢献

・伸びと強度のあるアクリルゴム防水材が長期間雨水の侵入を防止します。
・これまで困難であったシーリング材への塗布が可能になりました。

			アトムルーセント	JIS A 6021 建築用塗膜防水材 外壁用アクリルゴム 規格値
引張性能	引張強さ(N/mm²)（23℃）		2.9	1.3以上
	破断時の伸び率(%)（23℃）		350	300以上
引裂性能	引裂強さ(N/mm)（23℃）		6.1	6.0以上
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	149	80以上
		アルカリ処理	129	60以上
	破断時の伸び率(%)	加熱処理	317	200以上
		アルカリ処理	324	200以上

（社内試験データ）



シーリング材の上に施工することにより、シーリング材を保護します。

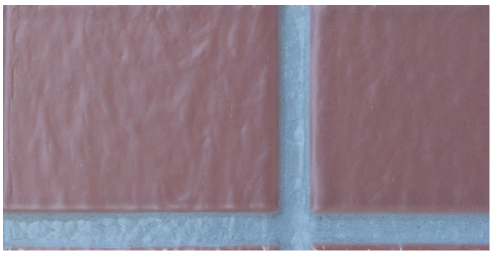
伸びと強度のある防水材によりタイル、タイル目地の劣化を抑制し、目地等のシーリング材※を保護します。
連続膜で保護することによりタイル落下を抑制する効果があります。

（※ノンブリードタイプ変性シリコン系シーリング材をご使用ください）

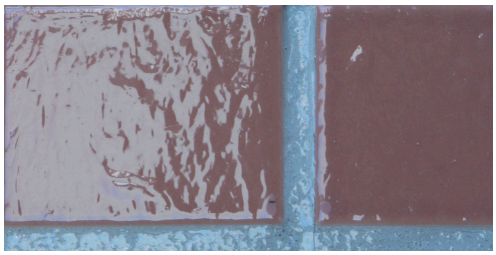
タイルの意匠を損なわない外観

・落ち着いた３分つやときらびやかなつや有りの２つの仕上げがあります。

元の色



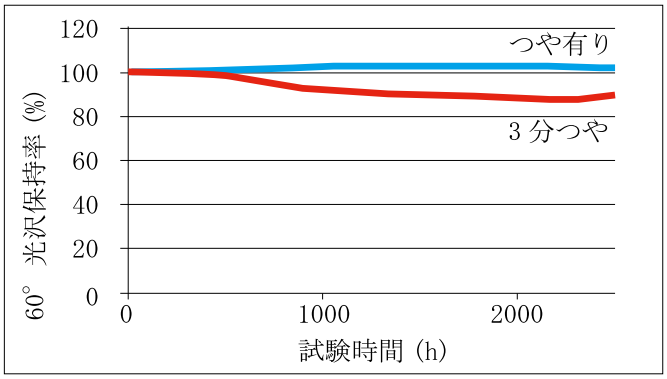
３分つや



つや有り

・紫外線照射や水噴射を繰り返す試験でも、ほとんど外観変化はしません。

促進耐候性試験結果（サンシャインウェザーメータ）



※200 ～ 250 時間が屋外ばく露１年間に相当します。

だから
意匠を損なわない

施工について

ローラーによる塗布

塗布直後（白色）

塗布１時間後

・材料は白色ですが、硬化すると透明になります。
・従来は降雨によって生じた白化が戻らないこともありましたが、本工法は乾燥とともに透明になります。

（※透明になるまでの時間は施工環境等により変動いたします）

使用材料

アトムＬシーラー

用途　タイル外壁等下塗り材
種類　一液水性アクリル
荷姿　15kg/ 石油缶
法令　消防法非危険物
　　特化則非該当

アトムルーセント

用途　タイル外壁等クリヤー防水
種類　一液水性アクリルゴム
荷姿　15kg/ 石油缶
法令　消防法非危険物
　　特化則非該当

アトムルーセントップ

用途　タイル外壁等クリヤートップコート
種類　一液水性アクリルシリコン
つや　つや有り、３分つや
荷姿　15kg/ 石油缶
法令　消防法非危険物
　　特化則非該当

アトムルーセント LC 工法（タイル外壁クリヤー防水工法）

	工　程	使用材料	使用量
1	下塗り材	アトムＬシーラー	0.15kg／㎡
2	防水材塗り	アトムルーセント	0.35kg／㎡
3		アトムルーセント	0.35kg／㎡
4	トップコート塗り	アトムルーセントップ	0.12kg／㎡
5		アトムルーセントップ	0.12kg／㎡

※施工の際には、毛抜けや泡が出にくいローラーをご使用ください。（推奨：WAKABA　大塚刷毛製造株式会社製）
※ガラスブロック、トップライト等への仕様に関しては弊社までお問い合わせください。

注意事項

【 下地処理 】

・シーリング用プライマー、エポキシ注入材は経年で黄変する場合があるため表面に残らないようにしてください。
・ワックスや油脂が付着している場合は除去してください。
・施工面に光触媒系の膜が無いことを確認してください。
・エフロレッセンスはスクレーパー等で出来るだけ除去し、弱酸性液で洗浄除去後、水洗してください。
・カビや藻はアルコール液等で除去してください。
・塵埃や付着物は高圧水洗で除去してください。その後、充分に乾燥させてから材料を施工してください。
・深目地の場合は、刷毛で丁寧に各材料を規定量施工するか、または浅目地に埋め戻し充分に乾燥させてから施工してください。

【 材料保管 】

・材料は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所で保管してください。

【 施工に関して 】

・ラスタータイルへは施工できません。虹彩感のあるタイルの場合は当社にお問い合わせください。
・本工法で施工することにより、既存外壁の仕上がり感が変わることがあります。事前に塗板見本または試験施工でご確認や打合せの実施を願います。打合せの際は、特にローラーパターンや仕上がり艶についてご確認ください。
・施工前に既存タイルの状況を確認し、浮き部やひび割れ部がある場合は、タイルを交換してください。
・足場固定部位はタイルの交換が必要な場合があります。事前に準備し、張付けるタイルにも本工法で塗布してください。また、埋め戻し後は既存タイルとの取り合いをシーリング打設等により防水処置をしてください。
・斜壁部の施工に関しては当社にお問い合わせください。
・水洗い後、または降雨後の施工面は充分に乾燥させてください。
・気温５℃以下、湿度８０％以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けてください。
・下地内部に水分が長期間介在するとクリヤー膜の白濁や耐久性低下につながる恐れがあります。花壇や擁壁等の裏面から湿気供給が予想される部位、および常時結露が発生する箇所への施工は避けてください。
・全工程において塗り残しの無いように施工してください。特に３分つやのトップコートは塗り残すと艶ムラが発生します。
・タイルが接地面から張られている場合は接地面からの塗布を避けてください。
・下塗り材の塗布量は、下地の状態により増減する場合があります。また吸い込みが激しい場合は２回以上塗布してください。
・材料を撹拌する際は手混ぜまたは低速の撹拌機をご使用ください。撹拌の際は空気を巻き込まないようにご注意ください。
・施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
・再施工をする場合は、美観の観点から原則として既存塗膜を撤去してください。
・シーリング材はノンブリードタイプ変性シリコン系シーリング材を用い、先打ちの上、本工法を施工してください。
・施工後の降雨により表面が白くなることがあります。成膜後の場合は、乾燥とともに透明になります。雨水のたまる場所は注意してください。

【 周辺部位の防水処理について 】

・施工部周辺の屋根との取合いや開口部回り、役物回り等は別途防水処理が必要です。当社にお問い合わせください。
・笠木天端はアトムレイズまたはアトムレジーナで防水処理してください。
・笠木カバー内側は防水または適切な雨仕舞（シーリング材施工など）を実施してください。

【 全般的注意事項 】

・製品をご使用の際には、製品本体添付の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
・改良等のため、製品および工法の名称、製品の中身・仕様、パンフレットの内容は将来予告なしに変更する場合があります。
・当販促物に記載されている使用量、工法はあくまでも設計上の標準的数値です。施工の際、諸条件によって増減する場合があります。
・製品本体およびパンフレットに記載されている定められた用途以外には使用しないでください。また、ご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

認定施工店

RAYS アトムレイズ

アトムレイズ工業会
ホームページ

連絡先
アトミクス株式会社
レイズ事業部(アトムレイズ工業会　事務局)
〒174-0041　東京都板橋区舟渡3-9-6　アトミクス㈱内
TEL：03-3969-3124（直通）　FAX：03-3968-7300
https：//www.atom-rays.com

2405003KO-⑥